

つぐみ

[1990年 松竹富士＝FM東京＝山田洋行ライトヴィジョン]

[スタッフ]

原作	吉本ばなな
脚本・監督	市川準
撮影	川上皓市
照明	磯崎英範
録音	宮本久幸
音楽	板倉文
美術	正田俊一郎

[出演者]

山本つぐみ	牧瀬里穂
従姉妹 まりあ	中嶋朋子
姉 陽子	白島靖代
母 政子	渡辺美佐子
父 正	安田伸
恭一	真田広之
まりあの父	あがた森魚
恭一の兄	財津和夫
医師	下條正巳
ケーキ屋店長	高橋源一郎

(カラー／アメリカン・ビスタ／モノラル／106分)

吉本ばななの小説『TUGUMI』の映画化で、牧瀬里穂が同年の映画デビュー作『東京上空いらっしやいませ』(相米慎二監督)とあわせて、各映画賞の新人賞を独占した思春期映画の秀作。老舗旅館を営む両親のもとに生まれたつぐみは、病弱な体質ゆえに甘やかされて育ち、その傍若無人ぶりは家族を困らせていた。従姉妹のまりあ、姉の陽子とともに過ごすことになった18歳の夏、つぐみはある出来事をきっかけに恭一という青年と出会う。まりあ役の中嶋朋子、恭一役の真田広之や、あがた森魚、財津和夫、高橋源一郎といった個性豊かな俳優陣のなかで、不機嫌な表情が印象的なヒロインを演じた牧瀬里穂の強烈な存在感が光る。監督の市川準も本作で数々の映画賞に輝いた。